



2011年6月16日

報道関係各位

TIS 株式会社

## TIS、CMMI 成熟度レベル 4 を達成

ITホールディングスグループのTIS株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長:桑野 徹、以下 TIS)は、情報・通信・サービス向け部門であるサービス&コミュニケーション事業部(注1)でソフトウェア開発プロセスの能力成熟度を評価する国際標準モデルであるCMMI®1.2版(注2)の成熟度レベル4を達成したことを発表します。

### <CMMI 成熟度レベル 4 達成について>

サービス&コミュニケーション事業部は、品質・生産性の継続的向上を目的として2004年度よりCMMIの段階的な道筋に沿った改善活動を推進しています。2006年には同事業部内の一部門で、2008年には同事業部全体でCMMI成熟度レベル3を達成しました。その後も定量的なプロセス管理の強化を中心に改善活動を継続し、今回成熟度レベル4の達成を果たしました。

同事業部では、今後もこの仕組みを活用して、お客様へ最適なサービスを提供し続けるための開発プロセスの改善に取り組んでいきます。

### <TISのCMMIへの取り組み>

TISは、2002年にCMMI(当時はCMM<sup>SM</sup>)への取り組みを始め、2005年から品質・生産性の継続的向上を目的として、CMMI、ISO9001、PMBOK等の基準を取り入れたQMS(品質マネジメントシステム)を構築し全社的に展開しています。約10年にわたる、ソフトウェア開発や管理のプロセス改善活動により、今回レベル4を達成したサービス&コミュニケーション事業部のほかにも、これまでに複数の事業部でレベル3を達成しています。

TISは、2011年4月に、TIS株式会社、ソラン株式会社、株式会社ユーフィットが合併し新生TISとなりました。新会社においても、CMMI等を基準とするQMSの適用を拡大し、新会社一体となって品質・生産性を継続的に向上させ、お客様サービスの向上を図ってまいります。

注 1) 対象組織

対象組織は、産業・公共事業統括本部 産業・公共第1事業本部 サービス&コミュニケーション事業部(旧 産業事業統括本部 サービス&コミュニケーション事業部)です。

注 2) CMMI

CMMI (Capability Maturity Model Integration) は、米国カーネギーメロン大学ソフトウェア工学研究所 (SEI) で開発された、システム開発を行う組織の成熟度を表現したモデルです。国際的に実績のあるプロセス改善のモデルとして、世界中の多くの企業で使用されています。

今回の成熟度レベル 4 達成は、開発のための CMMI1.2 版 (CMMI-DEV,V1.2) 段階表現に基づいた公式アプレイザルの結果です。

成熟度レベルは、CMMI において、組織のプロセス改善の進化の段階を定義したものであり、以下の 5 段階です。

成熟度レベル 1) 初期

成熟度レベル 2) 管理された

成熟度レベル 3) 定義された

成熟度レベル 4) 定量的に管理された

成熟度レベル 5) 最適化している

◆TIS 株式会社について

2011 年 4 月、IT ホールディングスグループの TIS(株)、ソラン(株)、(株)ユーフィットが合併し「新生TIS」が発足しました。200 弱のフルラインサービスと国内トップクラスの総面積約 10 万 m<sup>2</sup>のデータセンターをフル活用し、SI 受託開発からアウトソーシングサービス、クラウドサービスまで全方位型の IT サービスをワンストップで提供してまいります。

◆IT ホールディングスグループについて

IT ホールディングスグループは、様々なお客様を IT で支援する IT エキスパート集団です。進化し続ける企業グループとして、グループ各社の個性を活かし総合力で応えます。

※ CMM、CMMI は、アメリカ合衆国特許商標庁に登録されています。

※ 記載されている会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。

---

【本件に関するお問い合わせ先】

<報道関係お問い合わせ先>

TIS 株式会社

企画本部 広報部

担当：浄土寺/畠山

TEL : 03-5402-2133      FAX : 03-5402-2433      e-mail : info@tis.co.jp

<お客様からのお問い合わせ先>

TIS 株式会社

技術本部 生産技術部

担当：葭谷（よしたに）

TEL : 03-5402-2625      FAX : 03-5402-2488